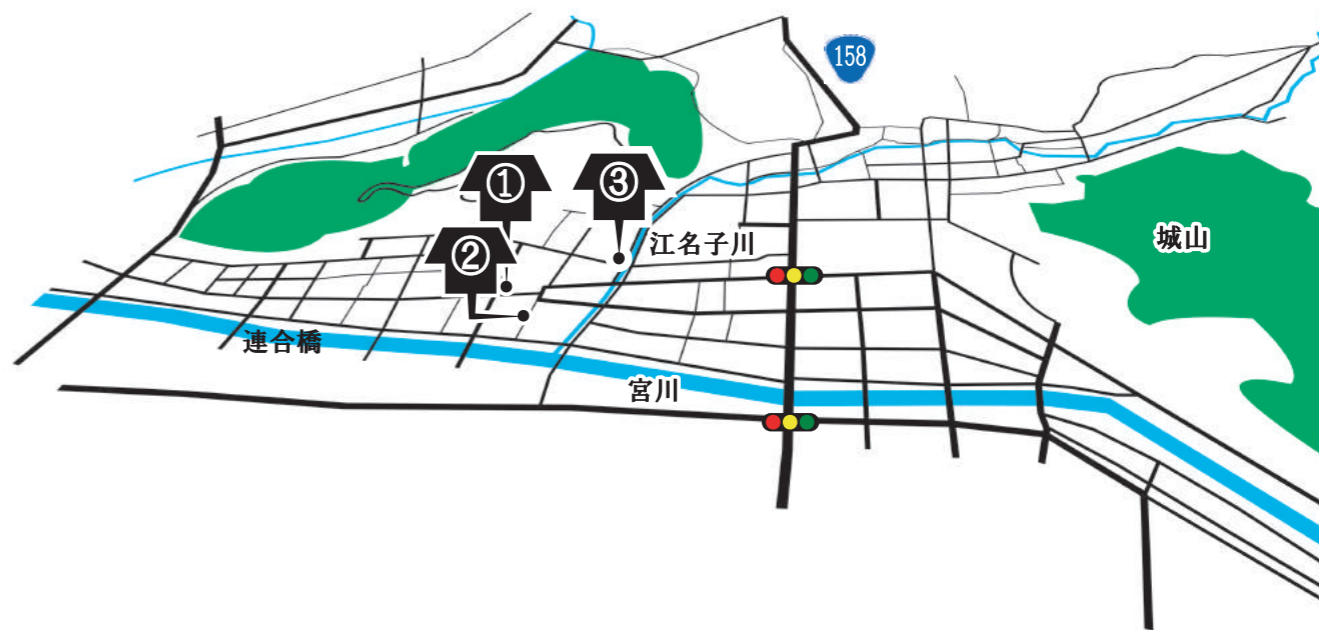


高山驛飛みなみ町

15号

伝建地区 景観保存区域の

秋葉様 ②



皆様からの「地域や町並み」に関する身近なニュースや、ご意見、ご要望など、各保存会会長様までお寄せください

安全な生活環境づくり 板塀の新設・改修工事の補助

平成18年、高山にふさわしい景観づくりのために高山市景観計画が策定されました。その中で、特に景観に配慮した地域づくりが求められる14の地域が景観重点区域として指定されています。

景観重点区域内で板塀などを新設及び改修する場合、予算の範囲内において補助金を受け取れる制度があります。

先ごろ、その対象区域が全市域に拡大され、また、期間限定でブロック塀撤去後の板塀の新設などに対する補助率、及び限度額が引き上げられました。

遅すぎた対応
きっかけとなったのは、平成30年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震で発生した塀の倒壊による人的被害の発生です。高槻市では、登校中の小学女子児童が倒壊し

鎮座地：大新町1丁目



場所：記念道路角
奉祀者：大新町1丁目の一部
2、3丁目
(鳳凰台組)

勸請年：不詳
社殿：神明造タイプ
灯籠：有り

鎮座地：大新町1丁目



場所：豊明台蔵前
奉祀者：大新町1丁目
(豊明台組)

勸請年：不詳
社殿：神明造タイプ
灯籠：有り

鎮座地：大新町1丁目



場所：桜橋北詰
奉祀者：大新町1丁目
(浦島台組)

勸請年：大正4年(1915)
社殿：神明造タイプ
灯籠：有り

協力・資料提供：高山市教育委員会文化財課

国内では、かねてよりブロック塀の危険性が指摘されてきましたし、過去にも地震発生時にブロック塀倒壊によって多くの犠牲者が出ています。昭和53年の宮城県沖地震では、ブロック塀の倒壊による人的被害が相次ぎました。

これを受けて、昭和56年に建築基準法が見直されましたが、旧基準に基づいて建設されたブロック塀は、違法にはならないという背景もあり、建築基準法改正後も、各地で対策が不十分なブロック塀が残され続けました。

平成17年の福岡県西方沖地震、平成28年の熊本地震でも死者が出ていますが、ブロック塀の危険性の認識は深まりませんでした。

高槻市の小学校で倒壊したブロック塀の高さは3.5m。新基準どころか旧基準に照らし合わせても明確な違反

ブロック塀は低予算で建設ができ、汚れても洗い流すだけで手入れが簡単です。しかし、正しく施工され、定期的なメンテナンスを行うなどしても、耐用年数は約20〜30年とされています。見た目は劣化の有無は判断が難しく、内部の鉄筋にいたっては特殊な機器を使わないと判別出来ません。

ブロック塀等の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で1〜5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高さすぎないか
・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は傾きか、ひび割れはないか。
・専門家に相談しましょう。
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも、80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
・基礎の掘入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

※国土交通省ホームページに掲載されている点検チェックポイント解説図

安全な生活環境づくり

撤去の費用に付随する工事ならば重機が使えますが、ブロック塀だけの解体となると手作業になる場合もあり、費用がかさむこともあります。

補助対象の工事と各補助率と限度額

- ① 倒壊の恐れのあるブロック塀などのうち、道路や公園などに面する部分を撤去する工事や廃材処理。
- ▼ 経費の1/2以内で、1ヶ所につき30万円迄。
- ② 撤去した後、板塀や生け垣に造りかえる工事。
- ▼ 経費の2/3以内

お寄せいただきましたご意見などは、編集して本誌等でご紹介させていただきます